くにみ

【第56号】
昭和37年5月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤音次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

買収供応追放月間について

参院選挙にそなえよう

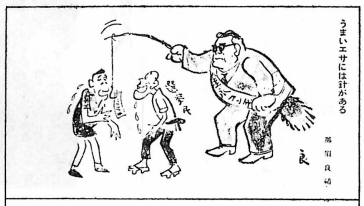
民主政治の健全な発展のためには、選挙が、国民の自由に表明された意志に基づいて、公明かつ適正に行われることが基本的要件であります。ときあたかも、参議院議員通常選挙を間近にひかえ、選挙から買収供応などの悪質な選挙違反を徹底的に追放し、真の民主政治を確立するため、この五月を「買収供応追放月間」として設定され、強力に運動を展開することによって、公明選挙の実をあげることになりました。

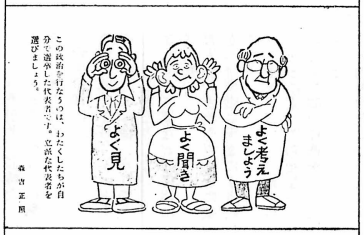
有権者の皆さん、どうぞこの趣意を了とされ、来るべき参議院議員通常選挙には、わどの違反者を一人も出さないようご協力下さい。

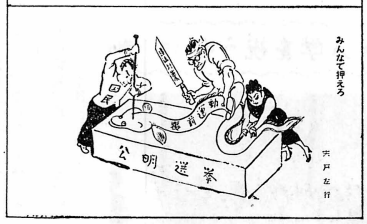
（国見町選挙管理委員会）

買収供応追放月間

5月1日 ▷ 5月30日







国見町公明選挙推進協議会

―設立趣意書―

民主主義における明るく正しい政治は、選挙が明るく正しく行なわれることによつてのみ約束されるものと考えられます。このため従来から、選挙管理委員会や社会教育機関及び諸団体などによって、公明選挙を推進するため各種の運動が繰り返し行われてきましたがざんねんながら、未だ理想選挙には程遠いことを認めざるを得ません。

公明選挙の実現は、いうまでもなく、私たち一人一人が、真に選挙の意義を認識し、一票の尊とさを自覚して、正しい投票を行使することにかかっています。そしてこれを実現するには一人でも多くの熱情ある有志が相提携し、折にふれ、時に応じて、一大国民運動を展開するほかはないものとの結論に達し、ここにわれら同志相はかり、本会を結成した次第です。

つきましては、この事業の重要性と私どもの意のあるところをご理解下され、私どもの運動にぜひご賛同ご協力下されますよう心からお願いする次第でございます。

―委員名簿―

○小坂地区
佐藤洋一、古内チヱ、菅野キヌ、安藤良一、佐藤善次郎

○藤田地区
斎藤昌義、赤井畑フデ、紺野千蔵、高橋トミ、穂苅莉三、松浦権次郎、稲村彦三郎、矢部安男

○森江野地区
宍戸惣兵衛、村上トク、石川暢夫、佐藤光一、後藤豊松

○大木戸地区
松浦功、八島アキ、松浦ハル、阿部恒夫、佐藤政三

○大枝地区
鈴木鉄男、小林マサミ、佐久間要吉、玉手正平

○役員
会長　佐藤善次郎
副会長　高橋トミ
方部長小坂　安藤　良一
藤田　稲村彦三郎
森江野後藤　豊松
大木戸阿部　恒夫
大枝　小林マサミ

―事業計画―

(1)、夫妻学級・考人学級等を開き、視聴覚教育をとおして話しあい学習をすすめる。

(2)、青年学級・婦人学級等に対し、公明選挙推進の資料を提供する。

(3)、婦人の政治教室を開催し、特に各部落のリーダーを養成する。

(4)、今夏執行される参議院議員選挙の公明化と棄権防止を図る。

国見町部落会長名簿

◎会長○副会長●会計　37.4.20現在

部落会名	世帯数	部落会長
南北町	80	藤繁郎
町前町	93	勝彦三郎
北南東町	82	村野善一郎
東表北西	92	田作民蔵
原山中下	76	吉秦奥蔵
上中下	120	山田真滋吾
1	96	倉須五十嵐常次郎
2	40	佐藤藤角久巳
3	16	佐佐宍戸々木吉三郎
4	31	地川田五幸正男
北	22	菊市吉吉野藤積金貞
8	28	佐佐宍佐藤藤畳正作
9	33	菊市吉野安佐佐遠藤藤
10	44	菅骨骨野野藤畳
11	41	滝山山板前太小鳥内
12	46	崎崎田谷江
田	67	〃〃〃〃〃〃〃泉
寺	55	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
城	39	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
戸	46	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
根	56	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
町	54	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
館	29	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
内	49	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
柳	37	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
部	49	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
部	37	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
部	59	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
部	36	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
部	40	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
部	46	〃〃〃〃〃〃〃〃〃
部	89	◎佐藤新武三郎
部	44	佐野上工記七市
部	57	村菊高橋地藤浦市
部	22	菊斎佐佐藤藤嘉
部	21	高橋勇久与久一
部	52	菊地久志兵郎
部	120	斎藤惣吉
部	69	佐佐藤藤
部	59	佐佐藤浦市三郎
部	70	松嘉平
部	57	○遠藤林伊惣次七
北	29	小鈴木木井戸次郎
中	15	鈴忠与玄亀平
北	71	鈴内柳治
中	24	新瀬治
北	34	瀬佐
北	20	佐藤治
北		佐藤

（総計）　部落数　48　班　数　259
世帯数　2.492　回覧総数　307

この人につづきましょう

改良推進員決る（農業六二名 生活一六名）

最近の農業生産の向上はすばらしく、その原因は、化学肥料や農薬の発達と技術の向上にあるといわれている。国や県で研究された高度の知識技能を、末端農家に速やかに普及徹底するために、県の農業改良普及員の手足になって働らくのが農業改良推進員と生活改善推進員である。推進員は、普及員の指導をうけながら自ら新しい技術や農業をとり入れて実験し、周囲の人たちに範を示したり、あるいは相談相手になってやる。

新農村の建設とか、農業構造の改革とか叫ばれているとき、その第一線に挺身することに重大な役割をもっているのである。従ってその人選は極めて大切であり、推進員にその人を得ればその地域の農業はすばらしい進歩をし、不適当な推進員であれば地域の不幸を招くということになる。

町では昭和三十七年度の推進員について、各部落から推せんされた候補者を県に上申中であったが、このほど県知事からの任命辞令が届いたので、五月二日午後二時役場で左記のとおり男六二名女一六名に対し伝達式を行なった。

◇農業改良推進員

○方部委員　●副

◎小坂方部
斎藤実、一条直右工門、安藤正三、野村茂、佐藤俊雄
○伊野周一、阿部啓平、高野喜平、赤坂兼治、●熊坂栄一、古内吉蔵

◎藤田方部
吉田忠、大勝藤繁、小西安兵衛、秦清三、○八島昌、奥山邦夫、五十嵐音明、佐藤忠美、高橋富男、佐藤正明、宍戸収吉、●佐藤徳治
松浦直一、斎藤勇五郎、高橋芳吉、高橋勝美、吉田伊勢、阿部林右工門

◎森江野方部
○宍戸三郎、大津義降、谷口庸一、古山伝作、武田孟
石川博義、斎藤喜代太、引地孝、八巻三郎、八巻秀雄
●村上竹男、実沢正美、菊地惣一、高橋正明、佐久間質

◎大木戸方部
斎藤与市、佐藤正、斎藤忠太郎、阿部昭一、忍和夫、○渋谷一衛、佐野久吉、●吉川亀吉、菊地久志、八島健一、佐藤一

◎大枝方部
佐藤信雄、小林泰一、●佐藤洋一、○佐藤茂雄、鈴木鉄男、鈴木正明、鈴木正孝

◇生活改善推進員

◎小坂方部
古内イチ、遠藤キヨ子、佐藤タカ

◎藤田方部
高橋キヨミ、吉田君子、阿部トヨエ

◎森江野方部
佐久間いち、佐藤トク、佐藤一江、村上トク

◎大木戸方部
毛利とし、松浦ハル、八島アキ、大沼春代

◎大枝方部
鈴木ヤイ、小林マサミ

◇役員
会長　渋谷一衛
副会長　八島昌

ふとんや毛布

"寝具の持ち込みは不要です"

藤田病院で基準寝具の実施

この程公立藤田綜合病院では、県知事の承認をうけて、基準寝具を実施しました。

これまで、病院に入院するときは寝具いっさいを持参することになっておりました。このことは、患家にとって最もわずらわしいことであり、殊に家庭によっては入院のためわざわざふとんを新調するためその費用はおびただしいものがあり、また、家庭の寝具を病院に持ち込むことは衛生管理上からも大きな問題があったわけです。

そのために、患者に要する寝具のいっさい（掛ふとん・敷ふとん・毛布・ふとんカバー・毛布カバー・シーツ・まくら・まくらカバー等）は病院で設備し、その消毒や洗たくも病院の責任で行なう（一週間一回位）ことが基準寝具であって、わが藤田病院では、入院患者数の三倍の寝具が用意され、消毒・洗たくを終った清潔な寝具が常に倉庫一ぱいに保管されているわけです。これから藤田病院に入院される方は、ねまきと洗面具さえ持参すればよいということになりました。

林地肥培の考え方」（二）

―五年で成林のこつ―

―やまはたからよ―

つぎに二・三の注意を申し上げましょう。

①どんな土地にやるか

肥料は水にとけてはじめて植物に吸われるものです。また水分が少ないと、部分的に濃度が高くなって、肥ヤケをおこすこともあります。又反対に肥えた土地では、養分がたくさんありますので、ふつうの基準量では十分にキキメが出にくいといわれています。それで、まず肥料をやる場合には、山の中腹などの中程度の土地がよいわけです。肥料のキキメは一番期待されます。

②ていねいな植えつけ

肥料を吸うのは根です。いかげんな植え方では、根も十分に張れず、けつきよく肥料を吸うことができません。ていねいな植えつけは、林地の前提条件です。

また、根は肥料（特にリン酸）によっても発達をうながされます。根張りが大きくなることは、より多くの土から養分を吸うことができるわけです。ていねいな植え方と肥料によって、まず"根を育てる"ということを考えていただきたいのです。

③下刈りを忘れずに

造林地に肥料をやると、下草もよくのびます。それで林地肥培では、とくに下刈りが大事です。せっかくやった肥料が下草に吸われてしまうという人もいますが、刈った草は再び土地にこやしとしてもどされます。しかし、下草や落葉は林外にできるだけ持ち出さないことです。

"林地肥培の目標"

いうまでもなく、早く大きくさせることですが、若い時の成長を促進して、下刈りを早くきり上げることができます。早く、確実に成林させることを林地肥培の第一の目標にしたいと思います。成林するのに十年かかったのを五年で仕上げることは可能です。これからは、労力事情はますゆうくつになりますし、一番チャマのかかる成林までの期間を半減できれば、その効果は大したものです。肥料の種類、施肥の方法、時期、量などの具体的な問題は、林業改良指導員にご相談になってください。

今月のことば

○政治は見せ物ではありません。ミス・コンクールと混同しないで下さい。

○ほんとの親心はどうあるべきか。「親のちかい」でも読んでみたらいかがですか。

○じぶんのことはじぶんで。

○研修会、視察旅行のシーズンです。金やひまがなければ、せめて公民館の映画でも見て、三養素をとりましょう。

【写真】は予備寝具倉庫

◎選挙ブローカーを排しましょう　◎選挙違反と交通事故は追放しましょう

◎軽自動車税の納期……五月三十一日　◎ラジオ農業学校放送……水・木・金の午後七・三〇　NHK第二で

はりきる老人たち

ことぶき（寿）学級で若返えりの学習

昨年末に結成した国見町長寿会（会長東海林忠次郎氏）では、なるべく多数の会員の出席をはかるため、春の総会を方部毎に開いた。四月十八日大枝を皮切りに、各会場とも盛会であった。これは、従来の敬老会のように受け身のものでなく、計画運営一切を自分たちでやるもので、殊に平均寿命の伸びたこんにち、大いに若返って、新しい町づくりのため片袖かつげる老人になろうと、歌の花束、村の老人学級などの映画を見ながら大いに話し合った。そしてこれからもときどき集まってみんなで勉強し、今ときのことより、話せる老人になるため、年間数回老人学級を開くことを申し合せた。各方部の会場や出席人数次のとおり。

十八日　大枝小　三〇人
十九日　大木戸小二四人
二十日　研修所　五〇人
廿一日　森江野小四六人
廿二日　小坂小　五〇人

尚各会場とも婦人会幹部が出てお茶やお汁の接待をしたので感謝されている。

親のちかい

もっとほんきでとりくみましょう

一、交友について
○遊び仲間や遊び場所、遊び内容、遊び時間をよく知り、特に夜間の外出に注意しましょう。
○よい友だちをもたせ、遊び場所を与えましょう。
○悪い友だちもいちがいにのけものにしないで、みんなで支えあい、よい方に導かせましょう。
○パチンコや射的、競輪など射幸心をそそる行ないに気をつけましょう。

二、順法精神について
○酒やたばこを禁ずるとともに、子どもに使い走りでそれを買わせたりしない。
○睡眠薬や麻薬などの使用はさせない。
○賀入れや古物売買などに気をつけ悪習に染まぬようにする。
○バーやキャバレー、カフェーなどに立ち入らせない。
○親と子の間の秘密をなくしましょう。

三、暴力の排除について
○刃物をもたせないようにさせましょう。
○もち物に注意して危険なものはもたせない。
○身体に有害、危険なおもちゃや花火などを与えたり、もたせたりしない。
○人に危害を与えるような遊びはさせない。

四、マスコミへの態度について
○映画、雑誌、放送などの正しいみ方、きき方を理解させ、批判力をつけさせましょう。
○有害なものはみんなで不買運動などを起して追放しましょう。
○悪い映画、雑誌、絵画、写真などを見せたり与えたりしない。
○よいものを積極的に見せるようにしましょう。
○広告物の掲出に注意して、害のあるものを遠ざけましょう。
○ラジオやテレビなどのスイッチは親が管理して、悪い番組から遠ざけましょう。

五、純潔について
○心身の成長に気をつけましょう。
○男女の交際について子供といっしょに考えましょう。
○残こくな目にあわせない。
○いつも清潔にさせましょう。

六、公徳心について
○自分の言動に責任をもたせましょう。
○公共のものをだいじにするように教えましょう。
○社会に奉仕するという考え方を伸ばしましょう。
○人権の大切なことを教えましょう。

みんなの広場

消毒は徹底的にやりましょう

私の部落会では、保健委員の方が中心になって、ときどき便所のうじころしや家の中の消毒をしますが、みんなの力を合せて、部落のすみずみまで一軒のこらずやったときのさっぱりした気もちはまことにすがすがしいものです。年中こんな気持ちでいられたら、ほんとうにしあわせだと思います。

ところが、消毒をして二三日もたつとまたはえがやってきて、ものの十日とたないうちに前と同じになってしまいます。ごみ箱とか家畜小屋とか堆肥置場とか、まだ手の届かないところがぬけているのではないでしょうか。近くに実行しない家が一軒でもあると、せっかくまじめに消毒しても役に立たなくなります。お互いさまですから、めいめいにじぶんのまわりをよくしらべ、はえの生まれるもとをよく消毒することにしたいものです。

（藤田の主婦）

部落ぐるみで卒業・進級・入学を祝う会（大町南）

大町南部落では、十一日、青年研修所で、子どもたちの卒業、進級および入学をはげます会を開いた。これは、青少年補導の一つとして毎年行なっているもので、今年も補導員会と母の会が協力して、おいしいごちそうを作ったり、映画鑑賞と、ほんとうに楽しい一日であった。

たちをよろこばせた。小中学校の卒業生はもちろん、進級生（在校生）から新入の幼児まで、めいめいに招待状をもらい、午前中はみんなで学芸会、おひるには、親子そろって会食を、そしておもしろい映画鑑賞と、ほんとうに楽しい一日であった。

山登りは吾妻から（山友会の計画決まる）

山を愛し、山を楽しむ人たちでつくっている国見町山友会では、四月二十八日、青年研修所で総会を開き、新年度の事業計画などを協議した。まず、県観光課から借りた映画「吾妻・磐梯スカイライン」「福島県スキー場めぐり」「尾瀬」などの鑑賞をしたのち、本年度の夏山登山計画として次のとおり決定した。

五月　吾妻登山（日帰り）
七月　安達太良登山（一泊）
九月　酒井勇　蔵王登山（一泊）

尚具体案が決まり次第一般の方の参加を求める。

役員改選の結果左記決定。
会長　高屋宗雄
副会長　佐藤友一・小畑貞吉
理事　野村和夫（小坂）玉手正平（大枝）佐野貞治（森江野）
藍事　谷地功光・八島博正
酒井勇
庶務会計　阿部頼二

はたらくための三養素（栄養・休養・教養）を!!

映画の御案内

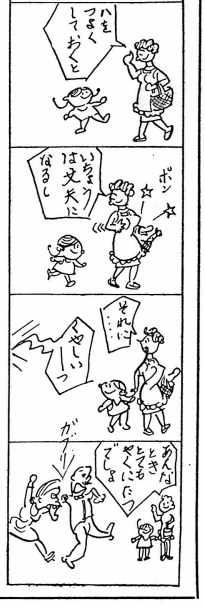
五・六月はすばらしい天然色観光映画でご慰問申し上げます。先月は「成人病問答」や「夫の気もち・妻の気もち」「大切な忘れもの」「村の老人学級」などで大いに勉強していただきました。各会場とも空前の盛況で、皆さまから感謝されております。いよいよ農繁期となりましたが「成人病問答」の知識を活かして、ますます心身共に健康に、家内仲よくはたらいて下さい。特に栄養・休養・教養の三養素をじゅうぶんとるようみんなで努力して下さい。

◎五月
○富士（カラー）……五巻
○結婚の条件……三巻
○ニュース
○その他
二十四日小坂、二十五日藤田、二十六日大木戸、二十七日大枝、二十八日森江野

◎六月
○黒潮丸（カラー）……四巻
○嫁・夫・姑……三巻
○ニュース
○その他

公民館では、農繁期特別番組で巡回いたします。フイルムの都合で部落巡回できませんので残念です。

6月4日 むしばぶぼうデー



町東部落に母の会誕生

町東（滑沢・滝川）部落の婦人たちは、みんなで集まって今ときの新しい教養を積もうと、よりより話し合っていたが、去る四月二十八日晩、部落長須田滋一氏宅に会合、結成総会を開いた。これには、部落内の全婦人が参加し、規約をつくったり、これからの活動方法を協議した。会議は和気あいあいのうちに進められ、必要に応じては分科会や全体会などもやってのけるほどの見事さ、須田部落長の適切な助言、リーダーを中心とした民主的な運営など、今後の活動がおもいやられる。

この会では毎月二十日を定例会として会員が集まり、いっしょに勉強したり、協議をするほか、石けんなどの共同購入をする。会費として月二十円を出す。

三日小坂、四日藤田、五日県北中石母田、六日大木戸七日大枝、八日森江野今回もぜひ親子・夫婦そろっておいで下さい。

大枝・徳南にも若妻会

近頃、婦人会の先輩たちが応援して、若妻会を育成することがはやっている。四月二十二日には大枝全地区一斉に五月一日には徳江南部に、それぞれ若妻会が結成された。

どちらも、先輩格の婦人会幹部が総出で応援し、これからは一さい気がねなしに勉強するよう励ましているので、今後の発展が楽しまれる。

こうして姑と嫁とが互いにはげまし合い、助け合って、新しい勉強をつづければ、やがて家庭に清新な空気がみなぎり、社会はますます明るくなることだろう。その他の部落も近く結成を見るものと期待されている。

◎新着図書のお知らせ

群馬（井上靖）淀どの日記（井上靖）駅路（松本清張）影の車（松本清張）雁の寺（水上勉）細い赤い糸（飛鳥高）鎮花祭（丹羽文雄）歌の戯れ（三島由紀夫）男の銘柄（丹地文子）暗い旅（倉橋由美子）二十歳の設計（源氏鶏太）ひまわり娘（源氏鶏太）勇敢な社員（源氏鶏太）石の林（樹下太郎）まあちゃんこんにちは（山本祐義）センセうちかえれ（大久保まさ子）トイレット部長（藤島茂）ソ連の裏街道を行く（大宅壮一）ヨーロッパ手帳（小島亮一）電化生活のすべて（沢田遼他）かしこい衣生活（小川安明他）住生活（有本邦太郎他）食生活（明石信道他）間違いだらけの衛生（杉靖三郎）続間違いだらけの衛生（杉靖三郎）記憶術（南博）手相術（浅野八郎）易入門（黄小娥）アイデイア（遠藤健一）適性（山本岩雄）現代の倫理（柳田謙十郎）恋愛の条件（村田宏雄）ゼロからの成功法（三谷昭）もの判断すること（島影盟）自分というもの（小口忠彦）やりたいことがやれる本（鎌田研一）若き日の生き方（武者小路実篤）人生の疑問（林田茂雄）青年の学習運動（吉田昇他）農村問題入門（福島要一）青年団ガイドブック（須藤克三）東北の農業経営（酒井馨）青年と政治（田中直吉他）青年と思想（淡野安太郎他）青年とモラル（勝部真長他）青年とマス・コミ（平沢薫他）海外諸国の青年運動（駒田錦一他）全国旅と温泉事典（日本旅行協会）ベストセラー（クルト・リース）新しいモラルの確立（亀井勝一郎）理想の社会に至る道（同）正しい愛情のすがた（同）新しい人間像の形成（同）心の平和を求めて（同）真の美しさのために（同）人間の健全な生存（同）海軍航空隊始末記戦闘篇（源田実）海軍航空隊始末記発進篇（同）職場雑話（石川武美）教養人の手帳（現代教養文庫編集部）花見酒の経済（笠信太郎）生活中の金言名句（佐山啓之）親鸞（境谷文雄）バイロン（鶴見祐輔）女の医学（婦人生活社）中野好夫集、大男西へ行く（穴吸良博（ロビンソンの末裔（開高健）二つの世界（田中均一郎）キュリー夫人伝（エーヴ・キュリー）十日十話（小泉信三）犯科帳（森永種夫）野草散歩（辺見金三郎）小林一三（三宅晴輝）悪の話題（毎日新聞社）わが祖国への自伝（エンクルマ）漂泊の人生（毎日新聞社）ある日幸せに（島津久永・貴子）

親の会

入えその他の事業を研究することになっている。

会員　四二名
会長　宍戸イネ
副会長　鈴木タケヨ
全　滝川フミ
会計　武田ハギ
全　高橋キエ
全　樋口スイ
幹事　加藤トキ